

作品は、課題により出来上がりが大きく左右されます。今月は皆様にとつて取り組みやすい課題だったのででしょうか。表現が多彩で、あえて優秀作品を選ばなくてはならないことに苦慮いたしました。作品づくりは、失敗の繰り返しで気が付けば部屋は反古紙の山。漢字やかなの古典臨書を愚直に繰り返し、「いつか創作作品に生かせれば」となれば神頼みに近い地道な練習。反古紙の山はカラスの攻撃から守るべく生ゴミの袋を何重にもくるむ貴重なグッズ。それでも書き続けるのは、やっぱり「楽しい」から。みなさん、古典臨書に励みましよう。表現力は技術と感性が必要です。

現代書部 課題

A 銀河は大空間に発光する水と花とを

微塵に散らした精神である

(佐藤惣之助 文)

B 憤怒こそ愛の極点

(しめきり……………十二月十五日)

(太宰治 文)

用紙

○A課題 小画仙角半、半切縦

○B課題 半切縦・横自由

出品資格

一般および高校生

◎条幅出品券を作品の右下へ必ず貼付すること。

なお、作品の裏右下に氏名を忘れず記入のこと。

※A・Bの両方同時に出品可。

※二点出品の場合、出品券の下部にA・Bを明記のこと。

(選評)

A課題の部

青映君 作品に重量感あり。小書きに粗密の変化がほしい。

祭 君 体の動きや思いが筆に乗り移ったように見える。怪しい字形に注意。

津雪君 読みやすく包み込むようにまとめたが、「柘榴」の線が単調になったのは残念。

優美子君 大字と小字バランスが良い。が、この場合、小字の書き出しは「風に動く」から書いた方が読みやすい。

恭香君 大きい腕の動きで紙面を圧して魅力的。小書きにも墨量・文字の大小の変化を。

加寿美君 筆脈の自然な流れ、無理のない素直な書きぶりに好感。

B課題の部

美峰君 「秋の風」はさながら一枚の絵のよう。「下」の文字形に注意。

桃華(井)君 文字を上下にはみ出させて外への広がりを演出。ゆたかな詩情を感じる。

清子君 大胆な構成の挑戦作。落款の収め方一考。

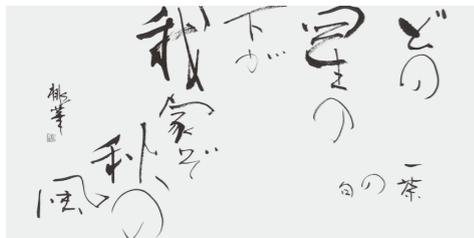
佳邨君 文字の強さと渋い線が律動する気迫を感じる。

桃華(二)君 線が厚重で字形の方向性にまとまりあり。

加代子君 面での広がりを意識した作。

嵐影君 直線をきかせて情緒ゆたかに表現。

熊峰君 自然な流れを感じる明るく爽やかな作。



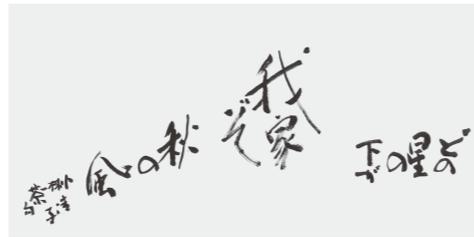
井上桃華



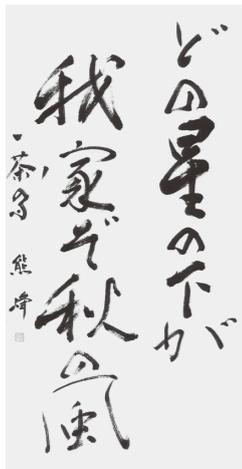
庄司美峰



梅田佳邨



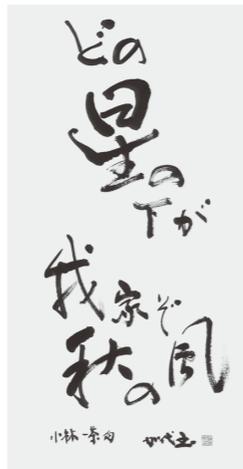
岡田清子



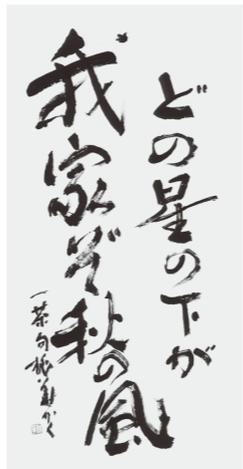
九鬼熊峰



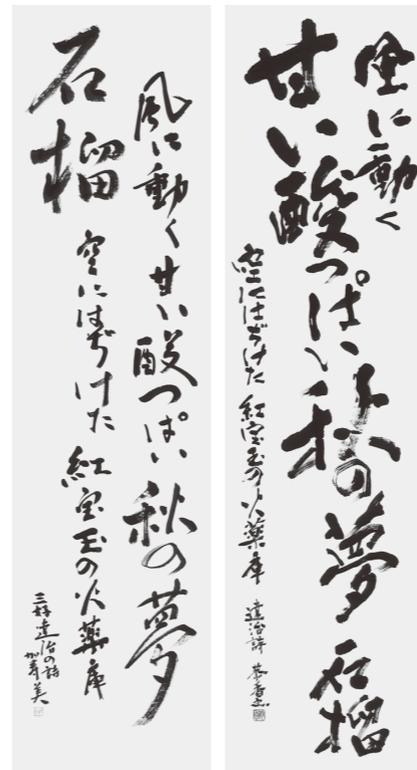
赤崎嵐影



前田加代子

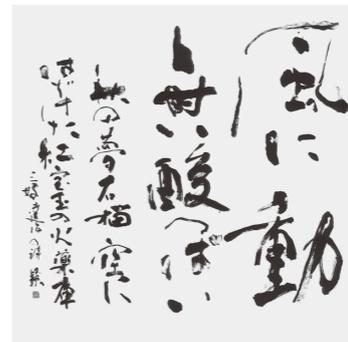


一井桃華

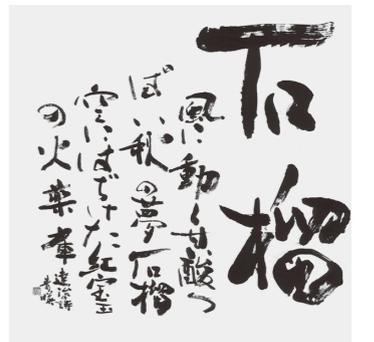


井上加寿美

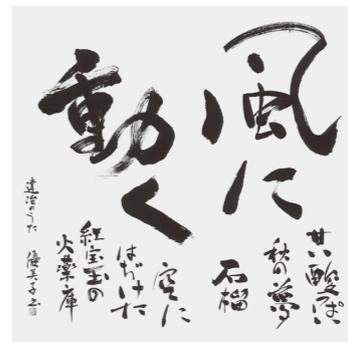
松下恭香



小倉 祭



西嶋青映



今井優美子



石田津雪